



だま

12月定例議会

- 議長年頭挨拶 P 2
- 定例会報告・補正等 P 3
- 特別会計補正・陳情等 P 4
- どう 6人が問う！
お考えか？ P 5~10
- 研修・政務活動報告 P 11

水遊びしませて

1月7日開催
…年の初めの出初式…

議長年頭挨拶

地方創生の実現を
めざして！

新年明けましておめでとうござ
います。

輝かしい新春を迎え、町民の皆
様に議会を代表して、心よりお慶
びを申し上げます。

皆様方には、日頃より議会に対
しまして温かいご支援とご協力を
賜り、心から感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみます
と、政府が掲げる地方創生に始ま
り、安保関連法案の成立やTPP
交渉の大筋合意など国内外の重要
な政策等が実施または継続審議さ
れております。

一方、地方自治体におきまして
は、長引く景気の低迷や少子高齢

化など様々な課題に直面し、不安
や閉塞感が広がっているようにも
思えます。

このような中、昨年、郡市十市
町村で提出した「相良七百年のも
のがたり」が日本遺産の認定を受
けましたことは、球磨人吉全域に
とって、明るいニュースとなりま
した。

また、本町においては、昨年合
併六十周年を迎え、十月には地方
創生による総合戦略が策定され
ております。今後も持続発展して
いくための戦略として次の四つの基
本目標を掲げてあります。

①「安定した雇用の創出」

（特に若い世代の転出超過の解消
のため産業と雇用の創出を目指す）

②「新しい人の流れをつくる」
（移住定住の促進、交流人口の拡
大を図る）

③「結婚・出産・子育ての希望を
かなえる」

（安心して結婚・妊娠・出産・育
児しやすい環境を創り、それら
の希望の実現を目指す）

④「安心して暮らせる地域づくり」
（地域コミュニティを維持するた
め、地域の特性に即した地域課題
の解決と活性化に取り組む）

町執行部は、これらの目標を基
に、施策等の効果検証を行いなが
ら推進していくということござい
ますが、議会としまして、昨
年、特別委員会を設置し、地方創
生の実現に向け、協働して推進し
ていく所存でございます。

また、その他にも様々な課題等
がありますが、町・関係機関・諸

団体の皆様方と連携しながら、町
民の皆様の負託と期待に応えられ
るよう鋭意取り組んでまいります
でございます。

どうぞ今後とも、町民の皆様方
の変わらぬご支援とご協力を賜り
ますようよろしくお願い申し上げ
ます。

結びに、今年は申年でございま
す。悪いことや厄は去って、新し
い年が皆様にとってより実り多き
年でありますと共に一層のご健勝
とご多幸を心よりご祈念申し上げ
まして、新年のご挨拶といたします。

多良木町議会

議長 村山 昇



推進

人・反対者1人

平成27年度12月定例会議は、12月8日から15日まで開催された

本定例会議において条例6件・各補正予算5件・委員長報告1件を審議した結果原案
どおり可決した。また、一般質問は6人が登壇し町の考えを質した。

農業委員・農地利用最適 委員の定数条例可決

賛成者 9
欠席者 1

定数条例に反対討論

久保田 武治 議員

「農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例」について久保田議員より今回の改革は大企業や営利目的のために土地の集約化を進め参入促進をはかると考えられ、中山間地の農家を守る施策か出来るのか疑問である。委員の減少は農地の適正管理と農家の声が届きにくくなる。また、推進委員は議決権がなく実質農業委員10人での管理には問題があるので反対する。

一般会計補正予算は予算総額に歳入・歳出それぞれ5千88万1千円を追加し62億3千74万9千円とした。

■主な補正は (千円単位切り捨て)

- ◎ ふるさとづくり納税寄附基金積立に
..... **283**万円
- ◎ 介護・訓練等給付金
... **1,771**万円
- ◎ 介護保険特別会計繰出金
..... **566**万円
- ◎ 地籍調査業務委託料
... **▲1,655**万円
- ◎ 合併60周年記念品(各世帯配布タオル代金)
..... **124**万円



災害復旧工事が必要な町道増谷線

- ◎ 町道増谷線災害復旧工事
..... **400**万円
- ◎ 多面的機能支払長寿命化交付金
... **2,057**万円
- ◎ 農地集積協力金
..... **670**万円
- ◎ 防災備蓄等備品
..... **384**万円



全戸に配布される合併60周年記念タオル

6人が問う！ どう お考えか？

1. 吉瀬浩一郎議員（5ページ）
 - ①町長の出張は日常の政務にいかされているのか
 - ②町内の企業に敬意をはらい大切にしているか
 - ③日本遺産認定をいかすために
2. 高橋裕子議員（6ページ）
 - ①総合戦略の方向
 - ②消防署広域化の方向
 - ③公共施設の管理運営の方向
3. 久保田武治議員（7ページ）
 - ①TPP大筋合意について
 - ②総合戦略について
 - ③生涯学習センターについて
 - ④槻木トンネルについて
 - ⑤合併60周年記念式典について
4. 源嶋たまみ議員（8ページ）
 - ①観光について
 - ②若者が定住しやすい環境の整備について
 - ③町職員の現状について
5. 宇佐信行議員（9ページ）
 - ①まち、ひと、しごと創生法の方向性について
 - ②農林業振興について
 - ③木質バイオマス事業について
6. 瀬崎哲弘議員（10ページ）
 - ①高校跡地の利用は
 - ②総合戦略の今後の動きは
 - ③企業誘致の考え方について
 - ④住宅行政の考え方は
 - ⑤平成28年度町の主な事業計画は

各特別会計補正予算

- ◆国民健康保険（事業勘定）
…… 574万円追加 総額16億2,706万円
- ◆久米財産区
…… 1,201万円追加 総額 2,407万円
- ◆下水道事業
…… 1,265万円追加 総額 4億5,544万円
- ◆介護保険
…… 4,447万円追加 総額15億2,054万円

町民大集会場保存要望採択

「町民大集会場（元多良木高校講堂）の保存と活用に関する要望書」が9月定例会議において総務産業常任委員会に付託されたが、同定例会議において町執行部より、その取り壊しの予算の凍結と保存・存続の意思が示された。

その後、同委員会で審議を重ね12月定例会議において「要望書」の採択に至った。

みなさんからの陳情

件名及び要旨	提出者の住所・氏名
所得税法第56条の廃止を求める意見書提出を求める陳情	熊本県商工団体連合会婦人部協議会 代表者 高倉 るい子
消費税増税の撤回を求める意見書提出を求める陳情	人吉民主商工会 代表者 大磯 敦三
国民健康保険財政への国庫負担割合を増やすことを求める陳情書	熊本県社会保障推進協議会 会長 鳥飼 香代子
介護報酬再改定を求める陳情書	熊本県社会保障推進協議会 会長 鳥飼 香代子
安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める陳情	熊本県医療福祉介護労働組合連合会 執行委員長 田中 直光
「介護従事者の勤務環境改善及び処遇改善の実現」を求める陳情	熊本県医療福祉介護労働組合連合会 執行委員長 田中 直光
「安全保障関連法廃止を求める意見書」の提出を求める陳情書	安保法（戦争法）廃止をめざす 人吉球磨の会 事務局 中務 千秋

吉瀬浩一郎議員



Q 県外百万円強の出張はいかされているのか

A 成果はすぐにはではなく研修を深めることも大事

町長 地元参議国政報告会は当初出席の予定だったが、国土大臣表彰があり首長の出席が望まれ課長とともに参

質問 町長は出張が多いため国会に出るのには副町長が多く、特に農業関係の国会には出ないという町民の声を聞く。予算を獲得するため陳情を行っている「地元参議の国政報告会」に出張で欠席された。また今後町の方向性を左右する最も重要と思われる「地方創生の推進委員と議員との合同会議」も欠席された。町長のこのような政治姿勢は町民に対して失礼な態度だと考えるし、107万円以上になる出張費の中で行かなくてもよいものはないのか、またその出張は町政にどう生かされているのか。

Q ナビック移転で困るのは町民では

A 白紙になれば相談をする



ナビック移転予定のあさぎり町役場東庁舎跡

質問 ナビック移転に関しては数年前からその対策を取るべきと進言していたが町長は危機感を持たれていなかった様に思える。従業員の方たちも本町の方よりあさぎり町の方が多くなると言われているし、結局困るのは町民である。正式移転は29年と言われているので今後も残ってもらう説得をすべきではないか。

岡本企画観光課長 あさぎり町とナビックはすでに協定は結ばれている。進出に対しては反対ではなく施設の利用に関しては反対もあるようである。今後白紙になれば再考願いたい。ナビックとしてはなるべく費用をかけたくないにあさぎり町の既存の施設を選択された。



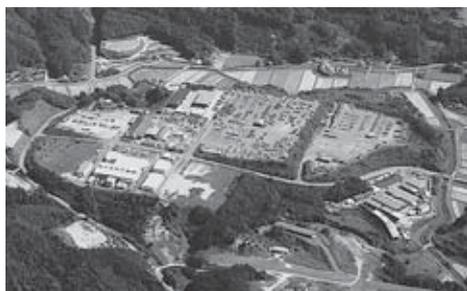
国会議事堂

加した。行事が重なる場合は優先順位を考慮してその成果はすぐに出るものではなく研修を深めることも大事だと思っている。

質問 町内企業との情報交換をすべきとこれまで質問してきたが年に1回程度は足りないと感じるし回数を増しきめ細かい配慮をすべきではないか。

岡本企画観光課長 現在県の企業立地課とともに個別に、また木材流通団地とは毎年情報交換を行っている。今年は人事異動に伴い担当職員とともに企業

Q 町内企業との定期的な情報交換は
A 県とともに個別に情報交換



多良木町工業団地

を訪問し挨拶に回っている。

高橋裕子議員



Q 総合戦略の方向は

A 効果的な推進としての協議を

質問 総合戦略策定においては見集約も困難な組織作りであったと思うが効果検証、施策の充実・展開をどう協議していくのか。民意を反映するための下部組織の必要性は。

松本総務課長

担当課による効果検証をし、総合戦略推進委員会で協議。随時議会に報告しながら、議会活性化特別委員会と総合戦略推進委員会との合同協議会として考えていきたい。また、必要に応じて町民へ意見を求めたい。

質問

総合戦略におけるアンケートの結果も

順位だけで判断するのは大変危険だと思う。そういった課題の読み取りや、協議の場としての持ち方は、執行部の力加減で決まると思

うし、レベル的にも高いものが要求されるが、どうか。

松本総務課長

総合戦略は策定できたので、具体的な検討課題を示して協議をするような会議に持つていきたい。

質問 トップとして地域社会基盤の維持という大変重要な課題に対し、民意という前に何

Q 公共施設の管理は

A 国の公共施設等総合管理設計の要請あり

を成し遂げていくのかという考えは当然あるべき。はつきりと示し、施策としての責任的発言、それは持つべき。

町長

今までは、皆さんの意見を聞いて集約しながらやってきた。理解したうえで取り組みることにより自主性も生まれる。今後も検討・改善しながらやっていく。

質問 中学校校舎の老朽化・雨漏りを筆頭に

町内公共施設のメンテナンスが大きな課題である。町の実施計画通りでよいのか検証されているのか。

松本総務課長

国から公共施設の更新や長寿命化を計画的に行う公共施設等総合管理計画の策定要請が来ているので、来年度策

質問 農業振興所得向上対策としての広域農場の設立事業の方向は。

小林農林課長

設立目的として、高齢化や担い手不足による農地の遊休化防止・土地利用型作物の生産コスト削減・担い手の確保と雇用の創出・販路拡大における企業のニーズ対応による対外信用力の向上をめざし、

定計画をしている。

信國教育課長

中学校は構造的には問題ないということであった。雨漏りの修繕等、体力度調査をし取り組む計画はあったが財政上の問題もあり、延びている。学習環境の整備については認識している。

町全域の組織化を最終目的としたが、座談会等の反応としては大変厳しい状況である。モデル地区を作り、段階的にステップアップを図りながら再編を進めていく。



改修が先延びになっている多良木中学校

Q TPPの農家への影響は

A 牛乳・牛肉・米などで9.7億円

質問 TPP「大筋合意」は米・牛肉など主要5品目の3割もの関税を撤廃するなど国会決議に違反する合意だが、どう受け止めているのか。

町長 違反するという認識はある。以前から町村会でも反対し、先の全国町村会でも農山村の活力を維持するために特別決議をあげた。このままでは自給率はおろか、日本農業の壊滅に繋がるとの危機感を持って国に対応を強く求めている。

質問 本町の農業と農家にどんな影響があるのか。

小林農林課長 24年度実績で試算すると総額で9.7億円、多いものから、牛乳及び牛乳製品が5.2億円、米が2.2億円の牛肉が2.1億円となる。中山間地での本県における酪農等の衰退は、農村の持続的発展に多大な影響を及ぼすものと懸念している。

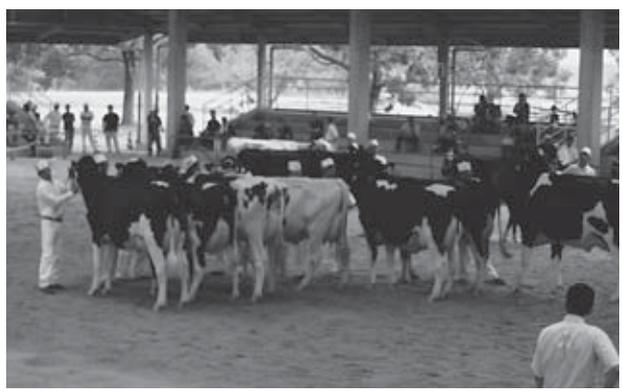
質問 保育料について「保護者連絡協議会」からの第3子の保育料無料化と第1子の軽減を求める要望書が議決されている。今、親の貧困が進み支援が強く求められている。どう対応するのか。

Q 保育料の軽減を

A 第3子以降で検討

質問 保育料について「保護者連絡協議会」からの第3子の保育料無料化と第1子の軽減を求める要望書が議決されている。今、親の貧困が進み支援が強く求められている。どう対応するのか。

白濱子ども対策課長 本町で18歳未満の子を持つ世帯の3世帯の内1世帯は年収200万円未満で負担増が伺える。病児保育事業でも利用料の負担感が多く聞かれる。今年度からの子ども・子育て支援法で



どうなるTPP? (県共進会)

Q 特別養護老人ホームの増設・増床は

A 現在、県の整備計画にない

階層ごとに2千円から3千円下がっている世帯も多くなったが、子育て世代の厳しい状況からすると子供の年齢にかかわらず、第3子以降はすべて無料にするなどの独自策も検討課題かと考えている。



質問 地方創成の中で福祉、健康のまちづくりをどう進めるのか。特に200名の待機者のために、特別養護老人ホームの増設や、老朽化が進む福寿荘の増床はできないのか。

また、総理も介護離職ゼロのために50万床を目指すと言ってる。積極的に対応すべきだと思いが。

仲川健康・保険課長 特別養護老人ホームについては、県の整備計画に上がっていない。福寿荘の増床についても今のところ計画はない。



いつも満床の福寿荘

源嶋たまみ議員



Q 観光について

A 人吉球磨で連携

質問 総合戦略の中に「町へ新しい人の流れを作るといふ所」で事業名「観光協会の設立事業」とあります。いつ頃を目安に設立を考えているのか。

町長 商工会・関係団体と協議を進めながら事務所の場所であったり、どういった施策ができるかの協議を進めていきたいと思っていますので、今の段階ではいつ設立というところまでは至っていない。

質問 どの様な体制を考えているのか。

岡本企画観光課長

適した場所に事務所を置き、土曜・日曜も観光客に対応出来る場所が必要ではないかと思う。また、組織としては、行政だけでなく、関係の方々幅広く加入いただいての設立ができればと思っている。

質問 町独自の観光のあり方と他町村との連携した観光に取り組むべきだと思いが人吉球磨一体で作るような構想はないのか。

岡本企画観光課長 観光は行政の組織ではあるが、振興局や広域行政組合が窓口の取り組みもあるので、人吉球磨全域で連携した取り組みも推進していきたい。

Q 若者が定住しやすい環境の整備について

A 現行の制度で

質問 現在取り組んでいる住宅補助事業に加え若者が住宅建設する際に補助する制度を設ける考えは。

久保環境整備課長

住生活の基本計画の策定を実施しているところで、情報共有を諮り



どうする？観光

家を建てるという事はそこに定住するという事なことなので、何らかの補助があってもいいのでは。

町長 現在の補助は、町内のお金を町内で回していくことを考えているので、その部分が崩れていくのではと危惧している。今の段階では、今までの制度でと考えている。

質問 現在の住宅補助事業は活用しにくい点もあり、ハウスメーカーや地元業者に設計工事の委託をしても、プレカットの製品を使った時も補助はない。

質問 現在の住宅補助

がら、支援策を検討していきたい。

町長 ハウスメーカーに町産材を使うよう働きかけたい。

質問 他町村に比べ、町営住宅の家賃が高いと聞くがその家賃の計



国土交通大臣賞を受けた小林住宅

算方法は。久保環境整備課長 公営住宅法施行令の定めにより、どの自治体も同じような方法で算定されている。

町長 子育てしたくなる対策を検討し若者定住の環境促進を目指す。給食費に関しては補助は考えていない。

宇佐信行議員



質問 総合戦略基本計画が策定されたが、衰退していく基幹産業の持続的な課題にどう取り組まれるのか基本的な考え方は。

Q 基幹産業の農林業の課題は

A 雇用の創出と担い手の確保

小林農林課長

本町の基幹産業である農林業の持続的な展開を行うには、雇用の創出と担い手の確保だと考える。耕作放棄地の増加・就業人口の高齢化対策として、農地集積や法人組織づくり、加工品開発、販路の開拓、付加価値型のビジネスにつなげていかなければならないと考えている。そのためには現在の家族経営や集落営農の小規模農業ばかりでなく、大規模集約型農業つまり広域農場等を設立し、低コスト

Q 林業皆伐施業計画は

A 循環型林業経営を目指し

質問 林業振興策は、

皆伐施業を今後拡大の方向にと示されているが、年次施業計画と皆伐面積については。



整備された複層林

化や消費者・市場ニーズに柔軟かつ早急に対応できる企業の経営体

る。現在町有林には、

人工林面積、杉・檜だが、約1千300畝あり、40年生を超える林分が70%を占めており、毎年15畝を皆伐した場合

質問 木材価格が低迷

の中、杉・檜ばかりでなく、短期間に収益性がある広葉樹・花木等の植栽をした複合的試験林を造る考えはないか。

小林農林課長

複層林の形態にもいろいろあるが、今年、檜・山栗等を予定しており、今後は県が現在推薦しているセンダンを含めて検討していきたい。

Q 企業の森づくり事業は

A 前向きに検討

質問 森林資源の有効

活用の取り組みの中で財産価値を高め都市部との交流・地場産業の育成・雇用の創出等につなげていく考えはないか。

小林農林課長

熊本県が行っている企業法人等の協働の森づくり事業があるが、本町においても平成24年度から町有林皆伐跡地や妙見野地区を申し込んでいるが現在のところ未定。引き続き継続申し込みをしていきたい。特色ある先進



妙見野からの風景

地への研修を計画して、定住移住につながるよう展開をしていきたい。

瀬崎哲弘議員



Q 高校施設の利活用は

A 学び舎として残す

質問 高校存続を望むも現実として実質閉校の道である。跡地の有効活用は以前話のあった「県立陸上競技場」誘致を数万人の高校存続署名の熱の冷めぬうちに急ぐべきではないか。

町長 施設の利活用は「上球磨に高校を残そう協議会」の会長として「学び舎」として残すと決定している。今後の協議であり現時点では決定に至っていない。



利活用に期待！

Q 千載一隅のチャンスでは

A 気構えをもって対応

質問 自分たちの町は自分たちでつくる「ふるさと創生」は国が地方に目を向けた政策で、千載一隅のチャンスにとらえ、もつと具体的に町が正職員を増員し

てでも多数のプラン提案をもち、町民の意見をとり入れていくべきでは。

町長 庁舎全体で考えをもち取り組んでいきます。国に対し「手上げ」

Q 時代に適応した住宅を

A 水準向上を図っていく

質問 町では業者や民間が借家や住宅建築を行っている。町の「住宅行政」も時代に適応した変化が必要ではないか。「婚活アパート」や「空き家住宅」の応用また、単身者にも提供できる住宅の考えは。

久保環境整備課長 町の管理公営住宅は一般住宅27団地・123棟・321戸を管理している。人口・世帯数の減少が見込まれているが、需要に対しては満たされていないと思う。しかし27年度において79戸が耐用年数超過であるが管理戸数は現状を維持すべきと考えている。また今後の入居者への配慮は若年層・単身者・移住定住者への対応を図っていくとともに、給湯施設の改善や高齢者に対応した設備の更新を計り、住宅設備の水準向上も同時に図っていきたいと考えている。

方式で一番最初に手をあげいく気構えで対応している。職員数に關しては臨時・非常勤という事に対応しているつもりであるし、今回も町は新たに「地域おこし協力隊」ということで提案して先行的予算に答えるよう取り組んでいる。

久保環境整備課長 町の管理公営住宅は一般住宅27団地・123棟・321戸を管理している。人口・世帯数の減少が見込まれているが、需要に対しては満たされていないと思う。しかし27年度において79戸が耐用年数超過であるが管理戸数は現状を維持



ニーズ対応の住宅

追跡調査

木質バイオマスボイラーの課題を

平成27年3月議会に於いて、「えびすの湯」の木質バイオマスボイラー導入が可決された。今回、8月議会に於いて「整備工事請負契約」が僅差で可決され、現在工事が行われている。議会では新議員を含んだ全議員と関係各課長・係長で、町導入と同じ機種を稼働している鹿児島県垂水市に赴き、課題確認の研修を行った。



道の駅たるみず湯っ足り館

- 場 所：鹿児島県垂水市「道の駅たるみず湯っ足り館」
- 担 当 課：垂水市 水産商工観光課
- 管理運営：(株)芙蓉商事・薩摩おごじょ企画グループによる指定管理
- 運転開始：平成26年4月（木質チップ利用によるチップボイラーの運転）
- 垂水市：人口 約16,550人 鹿児島市とフェリーで結ばれる大隅半島の玄関口。過疎地域に認定されている。
- 木材産業の概況：総面積の76.4%が森林面積、今後も間伐等を適切に行っていく必要がある。
- 事業導入の理由：年間80万人の来館者がある観光拠点施設であるが、石油価格の高騰などにより年間1,500万円の赤字であった。市の森林面積が多いことから、経費削減と間伐材利活用を図ろうと計画。

- 現 状：燃料使用削減に向けての対策 営業日（土・日・祝日） 時間（13時～21時）
- チップ含水率比較：垂水市 70%以下で協定（実際は30～50%で搬入）
多良木町 70%の見込み
- 垂水市 1年運用しての総括：
ボイラーの運転は含水率に大きく左右される。含水率40%後半になると燃焼状態が悪く、灯油ボイラー併用になるため燃料費の増大になる。
- 議会として：町民のコミュニティーの場としての在り方とランニングコスト等について、引き続き検証していく。

総務産業常任委員会政務活動報告

平成27年11月10日～13日

文責：宇佐・豊永

●福井県吉田郡永平寺町
人口 19,288人

定住支援金 +
子育て支援金助成金
最大100万



●新潟県刈羽郡刈羽村 人口 4,820人

村の基金100億〔東京電力より交付金〕

平成24年度「農業生産」「加工物販」「飲食」「集客」の4つをコンセプトした複合施設ぴあパーク「とうりんぼ」がオープン。宿泊温泉施設・園芸ハウス研究施設・カフェ・サッカー場などを併設した村の新感覚エリアである。



ぴあパーク「とうりんぼ」

●石川県鹿島郡中能登町 人口 19,057人

（防災拠点施設等）

なかのと道の駅「おりひめの里」

開業26年「おりひめの里」にぎわいと、活力あるまちづくりの実現に向けて繊維業のさかんな中能登町にふさわしく、建物外観及び内観は繊維をイメージしている。農産物を直売。また能登地区の道の駅で唯一ドッグランも併設。災害時には地域の防災拠点として整備を行っている。



研修の様様

日本遺産に文化庁が認定



JAPAN HERITAGE

日本遺産

「日本遺産」は、地域の歴史的魅力や特色を通じて文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として文化庁が認定したものです。

「日本遺産」に認定された地域は認知度が高まり、遺産を通じた取組を行うことで地域のブランド化や、ひいては地方創生に大いに資するものと考えれ、国内外へも戦略的に発信し地域の活性化を図ることを目的としています。そこであらためて本町で認定された「遺産」のおもなものをシリーズでご紹介します。

(町の資料より抜粋)

シリーズ3

太田家住宅 (国指定重要文化財)



太田家は人吉城下の武士であったと伝わるが、幸野溝の完成後、中原に定着したようです。「倉小屋」の屋号をもち金貸し業を営むかたわら、「茶屋甚兵衛」として焼酎製造販売をしていた町人でした。福田寺入口にある1801年(享和元)建設の「南無阿弥陀仏」碑には、請負人の一人として「茶屋甚兵衛 甚之丞」の名があります。

住宅は梁行き寸法が3間(約6メートル)よりわずかに短く、最大限の広さを確保する工夫をしています。太田家住宅で使用された木材は、きちんと製材した真さす直ぬきぐなむなつかな材料だけで、屋根を支える小屋組は、扱首に貫や棟束を併用した当時最先端の技法を導入してあります。また、壁は鼠漆喰の壁や土壁、板壁で、板壁が多いという特徴があります。

シリーズ4

く め はるより 久米治頼神社 (町指定有形文化財)

堪大寺東側の字天神宇土にある神社。1566年(永禄9)に相良治頼の霊社として建造されている。

相良治頼は八代郡岡の地頭で、多良木城主相良よりやす頼泰の孫である。人望があり、1545年(天文14)に謀反の疑いをかけられたことで、40人の手勢と八代をしゅっほん出奔 ⇒ 人吉 ⇒ まさき真幸 ⇒ 多良木と移動し「鍋ノ城」に在城し、9月13日に人吉勢との「耳取原の合戦」の後、久米に逃走し、その後槻木峠を経て日向、豊後佐賀関に逃げ延び、翌年33歳で卒去した。

治頼は法力をもった武将と恐れられた人物で、久米治頼神社は、逃走先となった場所に因んで恵いを避けるため霊社として創建されたのであろう。



編集後記

昨年一年を振り返り今年度も残すところ三ヶ月となった。議会運営・活動に全力を尽くしてきたと思いつつ何かバタバタとしていたような気がしてならない。12月の定例会も終わり早速「議会だより」の編集に入り「伝えることの難しさ」を感じている。

熊日新聞の11月の「デスク日記」の記事で「紙面には限界がありその結果ニュースの本質が見えにくくなり誤解を与えていないか危惧する」という記事を見たとき専門の記者でもそのような悩みがあるのだという事を知り記者同様に「真実を伝える重責」をかみしめている。「読んでほしい・見てほしい」という気持ちがあるとしても伝わる記事に心がけ毎回「議会だより」を作っているつもりだがまた、「新しい年に気合を入れて頑張ろう」(林田)

広報特別委員会構成

- ◎山中 馨 久保田武治
- 高橋 裕子 宇佐 信行
- 林田 俊策 豊永 好人